

上／保存部と新築部間の多目的広場。歴史と賑わいを同時に感じる空間である。
下／1階保存部に設けられた郵便局。創建当時を忠実に復原した。



東京駅前側の外観。外壁150mを保存し歴史的な景観を継承した。



JPタワー

選評

JPタワーは、旧東京中央郵便局舎の東京駅前広場に面する部分を保存・整備した低層棟と高さ二〇〇メートルの高層棟からなる大規模複合施設で、日本郵便の民営・分社化後初の不動産開発事業によるものである。所有不動産の有効活用の観点から、都市再生特別措置法を活用し事業性を高めている。また、各方面からの保存要望の高まりに応え、保存範囲を拡大し、駅前広場を囲む歴史的景観を継承すると共に、新たに生まれたアトリウム内部から保存躯体の断面を見せるなど、新しい保存・活用の方針のひとつを示している。

建物は、地下四階・地上三三階・延べ二二二、〇〇〇平方メートル規模で、低層部は、商業施設・国際会議施設・ミュージアムなどで構成され、高層部はオフィスとなっている。低層部北東面奥行二スパンの保存部分とL型新築部分の狭間に生まれた直角二等辺三角形のアトリウムには、スカイライトから心地よい光が降り注ぎ、回廊を介して商業施設の賑わいが滲み出ている。高層オフィスは保存部からセットバックしたガラスのタワーとし、表情の綾で適度な主張をしながら、新旧の対比による新たな都市景観を生み出している。保存部は創建時の空間を残すため免震構造とし、大規模アンダーピニング工事^{*}により、その下に新たな地下躯体を構築している。また、免震構造に必要な敷地境界からの離隔距離を難易度の高い回転曳家により確保し、武骨になりがちなエキスパンションは、保存部分の外観に配慮し吟味されたディテールとなっている。外装タイルは、経年による損傷が著しいため、郵便局の出入口周りなど一部に状態のよいものを再利用し、大部分は古いタイルと調和するものを新規

^{*}アンダーピニングとは既存(保存建物)の荷重を支持するための補強工事のこと

BCS賞は、建築の事業企画・計画・設計・施工、環境とともに、供用開始後1年以上にわたる建築物の運用・維持管理等を含めた総合評価に基づいて選考し、建築主・設計者・施工者の三者を表彰する建築賞です。この賞は、1960年にはじまり2015年で56回を数えます。

< 2015年 第56回 BCS賞受賞作品 >

あべのハルカス 大阪木材仲買会館 北九州市立戸畑図書館 サイエンスヒルズこまつ JPタワー
静岡市清水文化会館 マリナート 資生堂銀座ビル Junko Fukutake Hall 鈴木大拙館 ダイビル本館・中之島 四季の丘
はあと保育園 明治大学創立130周年記念和泉図書館 ROKI Global Innovation Center -ROGIC- [特別賞] 上州富岡駅



